

JA全農えひめ情報

# みくに～と

新春特別号

1

2023・January



## CONTENTS

- ① 会長年頭あいさつ
- ③ 新春企画
- ⑧ ねっとわーく
- ⑨ NOW NOW COOKING 〈今月の素材〉牛バラ肉

会長年頭あいさつ

# 新年を迎えて



全国農業協同組合連合会愛媛県本部  
運営委員会 会長

菅野 幸雄

新年を迎えるにあたり、謹んでごあいさつ申しあげます。組合員ならびに読者の皆様におかれましては、清々しい新年を迎えたことと存じます。

平素は、全農愛媛県本部ならびにグループ会社の事業全般にわたり格別のご理解ご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

昨年はいまだ終息の見えないコロナ禍や国際的な紛争、円安、資源・食料価格の上昇といった世界情勢の激変により、国内経済はデフレからインフレ基調に流れが大きく変わった一年となりました。資源・食料価格の上昇

は輸入に依存する日本の脆弱さが浮き彫りとなり、国が食料の安全保障を強化することへの声が高まりました。その影響は、農業の生産現場においても生産コストが増嵩し、異常気象の常態化や家畜伝染病の拡大等、国内農業を取り巻く環境は一層厳しくなっております。

こうした中、全農といたしましては、肥料・燃料を中心とした安定調達に向けた事業体制を強化するとともに、国内資源の有効活用やコスト低減の取り組みを広く展開しました。同時に、行政や業界団体に対し、資材・肥料・飼料価格高騰対策の支援要請、生産者が経営継続できる適正な価格形成と国産農畜産物の消費拡大に向け働きかけを行いました。本年においても引き続き関係機関と連携し、生産者が持続可能な農業を実現できるよう支援していく所存です。

また、今年度から「食と農を未来へつなぐ」をキヤッチフレーズとした新たな中期計画がスタートしております。2030年のめざす姿「持続可能な農業と食の提供のために『なくてはならない全農』であり続ける」を念頭に「生産振興」「食農バリューチェーンの構築」「海外事業展開」「地域共生・地域活性化」「環境問題などの社会的課題への対応」「JAグループ・全農グループの最適な事業体制の構築」この6つの事業戦略を更に進めてまいります。愛媛県本部としても、全農グループのめざす姿の実現に向け、事業戦略を基本に事業別マスタープランを策定しており、JA営農経済事業の再構築に取り組むとともに事業計画の着実な実践を図ります。

将来予測の困難な時代において、その時々の情勢を冷静に見極め、柔軟性をもつて経営のかじ取りを行うとともに、全農グループ役職員一人一人が課題解決に正面から向き合い取り組んでまいります。

最後になりましたが、本年も皆様の一層のご指導ご支援をお願い申し上げますとともに、ご健勝・ご多幸を祈念し、新年のごあいさつといたします。



関岡 光昭 県本部長インタビュー

# J Aとともに5年先・10年先を見据えた 愛媛農業の基盤づくりを!



J A全農えひめ 県本部長

せきおか  
**関岡**

みつあき  
**光昭**

「JAグループ愛媛の  
めざす姿」に向けて

編集部 新年、おめでとうござ

います。

本日は「JAグループ愛媛の  
めざす姿」や、「3か年事業計画」  
に基づいた、JA全農えひめの  
令和4年の取り組みやこれから  
の方向などを関岡光昭県本部長  
に詳しくお聞きしていきたいと  
思います。よろしくお願いいいた  
します。まず、令和4年を振り  
返っていかがでしたでしょうか。

関岡 令和4年は、ロシア・ウ  
クライナ情勢をはじめ世界的な  
資源・食料価格上昇、急激な円



安の進行など、社会生活に大きな影響・変化があつた年でした。

肥料・飼料・燃料の多くを輸入に頼る中、相次ぐ資材費の高騰によって農家組合員の皆様にとっても大変厳しい年であったと思います。JA全農えひめ・JAグループ愛媛としても怒濤の1年となりました。まずは各品目の安定供給を第一に、県をはじめ関係各所に対して支援・

対策を要請するとともに、生産者の皆様の努力が適正に農畜産物価格へ反映されるよう、広く理解醸成を呼びかけてきました。

### 編集部

「JAグループ愛媛のめざす姿」が示されて1年経ちましたが、どのように取り組みましたでしょうか。

### 関岡

先のJA愛媛県大会では、JAグループ愛媛のめざす姿として、「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合としての役割発揮」を掲げています。また、時を同じくして全農グループにおいても、「持続可能な農業と食の提供のため農グループにおいても、「持続なくてはならない全農」であ

り続ける」という2030年の全農グループのめざす姿を明確にしました。JA全農えひめとともに、これらのめざす姿を実現するために、17項目の事業別マスター・プランを策定し、JA営農経済事業の再構築に取り組むとともに事業計画の着実な実践をはかります。

### 編集部

事業別に取り組みの内容をお聞かせください。

### 関岡

生産者の高齢化や農業従事者の減少、耕作放棄地の拡大など、生産基盤の縮小傾向が続いている状況です。現状の農業経営を継続するための支援と、今後愛媛の農業を支えていく担い手の育成支援が重要となります。今年度は機構改革により営農食糧部を営農企画部とし、営農支援課と新設の経済事業整備課の2課が中心となつてこれらの課題に取り組むこととしました。

JA農業技術センター

充・実施し、新規就農者の確保に取り組んできました。

さらに、6月初旬から松前町

で、実証圃を設置し、地域の核となる生産者（担い手）の育成と複合品目の組み合わせにより、分業による持続可能な产地づくりと労働力支援体制の仕組みづくり構築に向けたモデル実証を開始しました。夏場には、

枝豆の機械化一貫化体系の実証を行い省力化と作付け面積拡大の有効性を確認しました。また、冬場にも他の土地利用型品目で生産・荷造り実証を行い、適正な作付け規模と規模別所得、所

有する機器を明確化し、作付け面積の拡大を目指します。

### 編集部

経済事業整備課ではどのような取り組みを行っているのでしょうか。

### 関岡

生産基盤が縮小する中で、JAの経営基盤の維持・強化、特に経済事業の収支改善を図ることが重要です。そこで大きな負担となるのが、老朽化した選果場や倉庫などの施設の維持・管理・更新にかかる高額な費用です。当課では、各品目課と連携をとり、販売力強化を基にする複数のJA間における施設の広域利用を提案していくまです。愛媛さといも広域選果場での実績を踏まえ、JAや品目の



▲テクノプラザで行われた就農相談会



▲モデル実証圃場での枝豆の収穫作業

特性等を調査分析してコーディネートするのが経済事業整備課の役割の一つです。

## ブランド力の強化と 他企業との協力



▲県内で高い人気を誇る「ひめの凜」

**編集部** 米穀事業においては、「ひめの凜」は販売開始から4年経過しました。

**関岡** 大粒でしつかりしたかみ応えと華やかな甘みが特徴で、毎年完売しています。認定栽培者467人による栽培で、栽培面積は昨年度から約1・6倍の505haに拡大しました。



▲はだか麦を使った商品

**編集部** 果実事業についてはいかがでしょうか。  
**関岡** 「温州みかん」・「いよかん」等の柑橘をはじめ、キウイなどの生産量維持、安定化に取り組んでいます。反収向上・正品率向上に向け、定点土壤診断を行い、モデル園地で得られた結果を広く周知し、安定生産に向けた土づくりへの改善対策に繋げています。

**編集部** はだか麦についてはいかがでしょうか。  
**関岡** 麦の需要バランスの調整と生産基盤の維持を図るため、生産者のご理解をいただき、令和4年産においては、200haの小麦へ作付け転換しました。小麦の生産販売も順調で、5年産も同様の取り組みを展開することで、当初目標が達成できる見通しです。

また、新規販売店の開拓や行政等と連携した各種イベント開

催・参加により「はだか麦」の需要拡大および認知度向上に向けた取り組みを実施しています。他にも、はだか麦を使った商品開発や、新たな販路開拓などに取り組んでいます。



▲2022愛媛みかん大使任命式

**編集部** 「愛媛みかん大使」によるPR活動は今年で64代目と長い歴史があり、全国での認知度も非常に高いです。1月からは「愛媛いよかん大使」と名前を変え活動します。大使には、愛媛県の農家の代表として、現場の声を届けてもらっています。コロナの影響により消費宣伝の在り方があがつてきましたので、SNSや情報発信の場で新たなPR活動を含めて、積極的に活動してもらいたいと思います。

販促方法の研修会も併せて実施しています。

関  
西

**関岡** 四国中央市に設置した「愛媛さといも広域選果場」では、現在東予地区4JAが参加しています。JA域を越えた広域集出荷による販売先への安定供給や有利販売といったメリット創出のほか、芋の分離や根切り、泥落としなど荷受け前の作業も受け負っており、家庭選果・調整の負担が軽減されることから、栽培面積拡大に意欲的な生産者が増えてきています。愛媛県はさといもの生産量が全国4位ですが、他地域のJA・産地位が増え、面積・生産量拡大に繋げていきたいと考えています。

他品目においても、広域選果の声が挙がっているところですが、補助事業を活用する上で将来的な面積や収量の維持・拡大が見込めることが重要となっています。JA間の調整と生産支援事業の確立による生産振興を、野菜花卉課だけでなく営農支援課など各課が連携して取り組んでいきます。

て、1年経ちましたね。  
**関岡** JA全農ミートフーズ(株)、JA西日本くみあい飼料(株)やJAえひめアイパックス(株)などと連携して全農グループの総合力を生かし、生産から販売に至るまでの生産性の向上、経営安定対策、生産基盤維持の仕組みづくりを協議しています。

## 販売力強化 生産基盤の維持・拡大と

関岡 ここ数年、青果物における消費者の販売行動は大きく変わってきており、購買チャネルも多様化してきています。既存の取引を継続しつつ、新たな販売方式に合わせた、販路を拡大していくことが重要になつてきていると感じています。

関係】A や企業と協力し、より一層の関係構築をしていくことが重要になります。

編集部 直販事業はいかがです

**編集部** 畜産事業は販売をJJA  
全農ミートフーズ(株)に移管し

比較すると事故率はかなり低減しました。また、出荷日齢も早まり生産性向上に寄与することが出来ています。

生産資材高騰に対応する  
農業の継続を目指して

**編集部** 生産資材についてはいかがですか。

**関岡** 肥料・農薬事業部門においては、原材料高騰等による供給不安定や価格の高まりが続いています。

J A全農えひめは、県内の農業関係5団体と一緒に県へ、「肥料高騰に対する支援」「飼料高騰に対する支援」「県産農産物の消費拡大」を要請しました。また、品質安定と安定供給、価格の抑制を図るため、化成肥



### ▲肥育豚舎の様子

料・果樹配合の銘柄集約に取り組んでいます。

農機事業については、令和3年より「愛媛県JA農機協同事業体」を発足しました。組合員へのサービス向上や購買力強化、営業と修理の分業化、修理工賃の適正徴収などに取り組み、收支の改善は進んでいます。また、令和5年1月より、JA松山市が加入し、5JAと共に一体運営の取り組みを行っています。今後も他の県内JAの参加を呼びかけ、さらなる事業拡大を目指します。

JAは、多様化する包装形態への対応や、省力化・低コスト化、最適なパッケージ企画提案を行っていきます。また、将来的に実施する農産物のパレット輸送化に向けて販売・物流部門と連携を図り、T11型パレットサイズに適合し高品質で積載効率の高い出荷用段ボールの規格を品目ごとに集約していく必要があります。

## 消費拡大運動の取り組み

**編集部** 県内産農畜産物を使つたPB商品の開発が進んでいます。

**関岡**

「えひめみかん・いよかん混合」ジュースや畜産加工品の愛用運動など、JAグループ愛媛として長年取り組み、皆様にもご愛顧いただいています。

2021年に販売開始した「はだかんぽう麦茶」は、CMを通して、「生産量日本一のはだかんぽう麦茶」PRに繋がったのではないでしようか。また、パックご飯や「いも焼きのたれ」など、手軽に食べられるもの・調理がで

**編集部** コロナウイルスやロシア・ウクライナ情勢をはじめとした、様々なりスクに直面した時代となつてるので、それらに対応した事業を迅速に展開していく必要が求められます。明確なビジョンを見据え、皆がベクトルの向きを合わせていかな事には、何も始まりません。

5年後10年後に向けて、まずは事業計画とマスタートップランを着実に実践していきます。



る」ように精進してまいりますので、今後も皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

段ボールは、多様化する包装形態への対応や、省力化・低コスト化、最適なパッケージ企画提案を行っていきます。また、将来的に実施する農産物のパレット輸送化に向けて販売・物流部門と連携を図り、T11型パレットサイズに適合し高品質で積載効率の高い出荷用段ボールの規格を品目ごとに集約していく必要があります。

きるものを開発し販売することで、消費のきっかけになると考えています。JAタウンの売り上げも順調に伸びており、今後も魅力的な商品を開発し、県内産農畜産物の認知度向上と消費拡大に繋げていきます。

## 愛媛農業の先を見据えて



▲県へ飼・肥料高騰に支援を要請



# ねつとわーく

## 令和4年産「伊予柑」の 出荷販売対策と消費宣伝計画

### 果実課

令和4年産伊予柑の生産予想量（11月10日時点・県内JA集計）は、17,266トン（前年比92%）、販売計画は、13,811トン（前年比99%）と前年よりやや少ない出荷量の予想となっています。果実品質は糖度、酸度共に平年並みからやや高く、果実肥大はほぼ平年並みとなっています。

競合品目のりんごは出荷量がやや多く、イチゴは昨年並みが予想される。年末までにピークを迎える温州みかん市場残荷状況等、今後の販売動向に注意が必要です。年明け主力の静岡産の生産予想量（10月1日時点）は前年比119%と表作傾向が見込まれます。

このような状況下、今年産伊予柑出荷販売対策は、高品質果実の出荷を基本とし、出荷時における「品質を基本とし、JA別には直近の計画を基本と

計画的な出荷」「的確な産地情報の発信」に努め、果実需給調整対策事業および効果的な消費宣伝を実践し、有利販売に向けた取り組みを強化します。

### 全な出荷対策

品質基準に基づいた食味・内容重視の出荷を遂行するため、階級別貯蔵管理を行い、階級別の適期出荷に積極的に取り組みます。

販売開始は基本的に年明けからとし、1月販売は品質基準の遵守を徹底します。ただし、年内に市場からの出荷要請がある場合は、品質基準を遵守の上、対応します。

低品位果実は加工仕向け等市場隔離を行います。特に3月はス上りに注意した出荷を行います。

### 全な販売対策

月別の出荷計画量は品質調査結果や伊予柑の需要動向を勘案し、2月を基本とし、出荷時における「品質を基本とし、JA別には直近の計画を基本と

して出荷量を調整します。消費者は酸を嫌う傾向が強いため、伊予柑全体のイメージを損なわないよう品質基準を遵守した計画的な出荷を行い、特に1月は食味を重視した販売に取り組みます。

3L級以上の大玉果は販売後半の品質低下の発生や末端での取り扱いの縮小及び販売アイテムの変更等も懸念されるため、大玉果は早期に出荷し、遅くとも2月20日までに販売終了となるよう徹底を図ります。また、M級は3月1日以降の販売とします。

1月11日～31日における毎週水曜日販売分を停止します。レギュラー品は3月上旬頃には終了し、3月販売は「弥生紅」の出荷促進に取り組みます。

選果場ごとの出荷状況を的確に把握し、市場ごとの残荷量・未仕切り状況を加味して出荷量を調整します。

日量出荷量の平準化の徹底を図り、休み明けの出荷量は平常時の20%増以内に抑えます。

### 緊急時の対策

1月のJA全農えひめ全市場日別平均販売価格が一定価格を下回る恐れや市場在庫が増加する恐れがある場合は、緊急対策会議を開催し、全JA公平な出荷調整や出荷停止等の措置を実施します。調整方法は緊急対策会議にて調整数量枠を協議決定し、JA別には直近の計画を基本と

**伊予柑果実需給調整対策事業**

伊予柑は、愛媛の中晩柑類の中でも柱の品目ですが、近年の生産量・出荷量の減少傾向により、販売期間が縮小しています。本来、伊予柑は2月が品質的に適正期ですが、産地の数量減とこの時期の少量多品種に伴う前進化によって、消費地から品質基準に満たない果実の出荷が指摘されています。

このため、「伊予柑出荷販売対策」と合わせて、価格維持を目的とした低品位果実の市場隔離を行う加工誘導と、需要・販売環境を勘案した1月下旬から2月販売を主体とする重点期への販売（出荷）誘導による需給調整対策を全JAが連携協調しながら取り組みます。

SP（セールスプロモーション）レディ等による店頭試食宣伝活動（のべ100日）を中心に効果的な宣伝活動を通じて、魅力の発信と消費拡大、県内生産者への見える化に取り組みます。また、愛媛いよかん大使によるキャンペーン（1月26日から東京、2月3日から札幌・大阪）、天神合格祈願いよかん配布（1月8日）等を実施し、愛媛いよかんのさらなるイメージアップを図ります。

NOW NOW

COOKING

▶(右前)牛バラ肉のポトフ、(右奥)牛しゃぶサラダ、(左)すき焼き風



指導／愛媛調理製菓専門学校 山崎 翔 先生

今月の素材

牛バラ肉  
(伊予牛「絹の味」)



厳選素材の確かな品質と  
安心のブランドで旨味倍増

### すき焼き風春巻き

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約555kcal

牛バラ肉（薄切り）	200g
白ねぎ	1本
白菜	2枚
糸こんにゃく	100g
えのき茸	50g
みりん	100cc
Ⓐ 醤油	100cc
砂糖	30g
春巻きの皮	8枚
マヨネーズ	50g
一味唐辛子	適量
サラダ油	適量
揚げ油	適量

#### 〈作り方〉

- 牛バラ肉は一口大、白ねぎは斜め切り、白菜は5mm幅にスライス、えのき茸は半分に切ってほぐす。
- フライパンにサラダ油をひき、牛バラ肉、白ねぎ、えのき茸、白菜、糸こんにゃくの順に炒めていく。
- ③④にⒶを加え、水分がなくなるまで加熱後、粗熱をとる。
- ③を春巻きの皮で包み、170℃の油で揚げる。
- マヨネーズと一味唐辛子を混ぜ、好みでつける。

### 牛しゃぶサラダ

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約301kcal

牛バラ肉（薄切り）	150g
大根	100g
水菜	50g
キュウリ	100g
かいわれ大根	1パック
ごまドレッシング	100cc
Ⓐ ポン酢	20cc
ごま油	10cc
ユズ皮	適量
料理酒	適量
塩	適量

#### 〈作り方〉

- 牛バラ肉は料理酒と塩を入れたお湯でサッと茹で、氷水に落として冷ます。
- 大根・キュウリは千切り、水菜・かいわれは3cm幅に切り、1つのボウルで水にさらす。
- ①②の水気を切り、ボウルでさっくり混ぜ合わせる。
- Ⓐを合わせてドレッシングを作り、③にしっかりと絡め、器に盛り、すりおろしたユズ皮を散らし、完成。

### 牛バラ肉のポトフ

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約355kcal

牛バラ肉（ブロック）	200g
たまねぎ	1個
人参	1/2本
じゃがいも	2個
キャベツ	1/8玉
水	1,200cc
塩	適量
コンソメ（顆粒）	小さじ1
パセリ	適量
ブラックペッパー	適量

#### 〈作り方〉

- 牛バラ肉は1cm幅に切り、下茹でする。
- たまねぎはくし切り、人参・じゃがいもは乱切り、キャベツはざく切りにする。
- 鍋に①とキャベツ以外の野菜を入れ、弱火で10~15分程度煮込む。
- キャベツを加え、コンソメを入れ軽く煮込み、器に盛りパセリとブラックペッパーを散らし完成。

えひめの食

2023  
1月号 No.1029

●発行／全農愛媛県本部 〒790-0155  
●編集部／総務課 (009)948-53323

●印刷／高島屋8階 スカイドーム特設会場  
午前10時～午後7時(※22日(日)は午後6時まで)

●編集人／石丸  
保博

大切な人と  
愛媛みかん。

今だから、

2023年  
1月21日(土)・22日(日)  
いよてつ高島屋8階 スカイドーム特設会場  
午前10時～午後7時(※22日(日)は午後6時まで)

えひめみかん祭り開催にあたり、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、予防対策を行っております。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

マスク着用に  
ご協力ください。

●混雑時は入場制限を実施させていただく場合がございます。  
●発熱症状があるなど、体調不良の方は入場をご遠慮ください。  
●手指のアルコール消毒にご協力ください。  
●その他、主催者が行う感染対策にご協力をお願いいたします。

展示＆販売会

果実コンクール・愛媛かんきつと加工品販売  
県内各地より選び抜かれた多彩な果実と加工品が勢揃い。果実コンクールは予約販売です  
でお早めにお越しください。

みかん数あて

みかんの数を当てて、賞品をGET!!

みかん撮影会

こみきゃん  
ダーフみきゃんも  
来るよ!!

写真OK!

みかん〇×クイズ

【小学生以下】  
●21日・12時～15時～  
●22日・12時～

みかんガチャ

優良園地や話題の  
新品种・珍い・品種の紹介

主催：愛媛県 JA全農えひめ 愛媛県果樹同志会 愛媛新聞社

後援／愛媛県議会、一般社団法人愛媛県農業会議、愛媛県農業協同組合中央会、JA愛媛県信連、愛媛県農業共済組合、株式会社日本政策金融公庫松山支店、  
全国共済農業協同組合連合会愛媛県本部、えひめ愛フード推進機構  
協賛／いよてつ高島屋、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、FM愛媛、朝日新聞松山総局、毎日新聞松山支局、  
読売新聞松山支局、産経新聞社、日本農業新聞、時事通信社松山支局、共同通信社松山支局、日刊工業新聞社松山支局(順不同)

※新型コロナウイルスの感染状況によっては内容変更・中止となる場合があります。

VOC  
FREE T&K

VOC(揮発性有機化合物)成分フリーの  
インキを使用して印刷しました。

UD  
FONT



「えひめの食」Instagram  
Follow Me!



あぐり～どはWEBでも読みます  
<https://www.zennoh.or.jp/eh/about/information/>